

## 第53回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分 科 会 名	第 2 分科会	演題番号	206
題 名	静岡市の3歳児健康診査における視覚検査の結果報告		
所 属	静岡市清水区役所健康支援課 清水保健福祉センター		
氏 名	○折山亜佑美、中島千草		
要 旨 (簡 潔 に)	<p>静岡市では、「弱視の早期発見のため、3歳児健康診査(以下3歳児健診)にて眼屈折検査機器(以下オートレフ)の導入が有効である」という市内小児眼科医からの助言を受け、平成26年度のオートレフ検査モデル試行を経て、平成27年8月から3歳児健診における視覚検査の強化を図った。従来の3歳児健診では、視覚異常に関して事前に自宅で行ってもらった絵指標の結果と問診該当をもとに、内科医の診察場面で必要時精密券を発行していたが、オートレフ導入に伴い「絵指標」→「問診」→「オートレフ検査」と段階を踏んで、それぞれの結果から精密券を発行するようになった。</p> <p><b>【研究Ⅰ】</b> オートレフ検査を実施する中で「精密券発行数が多すぎるのではないか」「異常がない児に対しても精密券を発行してしまっているのではないか」という疑問を持つようになった。これは、対象者への負担、受け入れ医療機関の体制確保、医療費の増加にも繋がる問題と言える。そこで3歳児健診視覚検査における精密券発行対象者の受診結果について分析した。</p> <p><b>【研究Ⅱ】</b> 研究Ⅰの結果を受け、オートレフ検査導入により陽性反応的中率が下がってしまう要因として、「オートレフ検査で測定不能だったすべての児に対して精密券を発行しているからではないか」ということが考えられた。そこで、精密券発行に至る経緯ごとにグループに分け、グループごとの精密券受診結果の比較を行った。そこからわかったことと今後視覚検査の精度向上につながる改善点が見つかったため、ここに報告する。</p>		